

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 川津章弘	電話番号	0852-22-5132
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	畜産競争力強化対策事業		
目的	(1) 対象	畜産業を営む法人、JA、市町村等	
	(2) 意図	畜産農家を始めとする関係者が連携して、地域一体となって取り組む生産コストの削減や規模拡大等に必要な施設整備等を支援することにより地域における畜産・酪農の収益力・生産基盤の強化を図る。	
事業概要	畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な経営体に対し、収益力強化や畜産環境問題への対応に必要な施設整備等に要する経費の一部を補助する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 和牛子牛年間生産頭数	目標値	6,686.0	6,756.0	6,831.0	6,911.0	7,000.0	頭
		取組目標値						
	式・定義 当該年度における子牛登記頭数	実績値	6,686.0					%
	達成率	100.0	-	-	-	-		
2	指標名 生乳生産量	目標値	64,200.0	65,400.0	66,600.0	67,800.0	69,000.0	t
		取組目標値						
	式・定義 当該年次による生乳生産量	実績値	64,994.0					%
	達成率	101.3	-	-	-	-		

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	184,140	1,000,000
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成27年度(平成26年度繰越事業含み)の事業実施件数は、次の5件であった。

出雲市 1件(家畜飼養管理施設) 事業費：184,140千円 補助金：83,164千円
 飯南町 1件(家畜飼養管理施設) 事業費：52,920千円 補助金：23,685千円
 大田市 3件(家畜飼養管理施設) 事業費：362,326千円 補助金：161,315千円

平成28年3月31日現在：県内畜産クラスター協議会設置数 12組織

6. 成果があったこと (改善されたこと)

5件の事業採択により以下の増頭羽計画に向けた施設整備を実施

肉用牛一貫 30頭
 肉用牛肥育 183頭・法人化
 肉用牛育成施設 192頭分
 乳用牛300頭
 採卵鶏2万4千羽

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- ・要望事業の一部が事業採択に至らない場合がある。
 - ・地区畜産クラスター協議会が県全域を網羅できていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・国の予算規模より多くの事業要望がある。
 - ・事業意向のあるところで地区畜産クラスター協議会が設定されていないところがある。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・既存の畜産クラスター計画のブラッシュアップ等。
 - ・県内の畜産農家全体が事業実施できるように新規の畜産クラスター協議会を早期に組織化する必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・全県で事業実施するため、全地域での畜産クラスター協議会設立に向けた体制づくりを推進する。
- ・畜産クラスター計画の内容が事業採択に影響することから、計画内容の見直しやブラッシュアップ等のための助言等を徹底する。
- ・畜産クラスター協議会内での中心的な農家への指導、耕種農家等との連携強化等の仕組みづくりを推進する。

9. 追加評価 (任意記載)

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。